

単元名 みらいへのつばさ

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 算数を活用したごみを減らす計画の立て方を理解し、実行可能な計画を立てることができる。
 (2) リサイクルの資料を基に、1日に減らせるごみの量を考えることができる。
 (3) ごみを減らすことに関心を持ち、算数を活用してごみを減らす計画を立てようとする。

標準的な展開例

04040308_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 ごみの量について読み取る。[p.110・p.111]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ ももかさんのメモから、ごみの量についてよみとろう。 ○ 平成26年度に、福岡県で1人が1年間に出したごみの量を求める。 ○ ももかさんの主張は正しいかどうかを説明する。 ○ 「練習問題」に取り組む。 <p>2 ごみの量を減らす実行可能な計画を立てる。[p.112・p.113]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ みんなで話しあって、ごみをへらす計画をたてよう。 ○ ごみを減らすための考えを話し合う。 ○ ごみを減らすための3つの「R」を知る。 ○ ごみを減らす工夫を調べる。 ○ ごみを減らす計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福岡県のごみの量についてを考えた後に、自分の町のごみの量を考えるとよい。 ・ ごみ問題への関心をより高めるため、住んでいる町のごみの量を紹介してもよい。 ・ 理由を言葉や式を使って説明させる。 【評】 ごみの量を減らす計画について考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ ごみを減らす工夫を学級で話し合った後に、計画を考えさせる。 ・ 1年間で出されたごみの量と1人が1日に出したごみの量について確認させる。 ・ 自分の家の状況を基に、どうすればごみの量が減るかを考えさせる。 ・ Reduce(リデュース), Reuse(リユース), Recycle(リサイクル)を伝える。 ・ 例を参考に、実際にできるような無理のない工夫を考えさせる。 ・ 自分の家庭であれば、どれくらいのごみが減らせるかを計画させる。 【評】 ごみの量を減らす計画を立てる活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

身の回りには、いろいろな数量があふれている。本単元では、ごみの量を話題として扱い、児童なりのごみを減らす工夫を、ごみの重さに着目して考えさせたい。また、家族単位で考えさせることによって、1人分でどれくらい減らせるかを考えさせることをねらいとする。事前指導として各家庭でのごみの状況のアンケートをしておく、実際のこととしてより考えさせやすい。また、実践可能なごみの量を減らす計画を立てさせることによって、家庭でも実践できるように促していきたい。